

令和7年度 にしふじのみや幼稚園学校評価

自己評価実施日 令和7年1月16日

学校評価委員評価実施日 令和8年2月13日

学校法人土橋学園 にしふじのみや幼稚園園長 矢部理恵子

学校法人土橋学園 にしふじのみや幼稚園学校関係者評価委員委員長 佐野多知子

1 幼稚園の教育目標

「ひとり立ちする子」をめざして 「一人一人が輝く子ども」

1 思いやる心 2 丈夫な体 3 考える力

2 重点目標

- ・幼稚園ならではの体験・たくさんのお友達や先生と関わる事によって自立のための基礎を育てます。
- ・「生きる力」「愛」を掲げ、社会性のある子を目指します。
- ・「知育」「徳育」「体育」をバランスよく組み合わせた教育を行っていきます。
- ・研修主題＊様々な個性や特性を持った子どもたちが共に育ち合うために＊

3 評価項目の取り組み状況・達成結果の評価

- ※結果の表示方法
- A 十分に成果があった
 - B 成果があった
 - C 少し成果があった
 - D 成果がなかった

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	反省と改善点	評価点	意見
1	保育の計画性	A	<p>・職員全体で子どもたちを見守っていく体制や、日頃の保育や行事の計画など全職員で話し合っていくことで子どもたちへの良い教育へと繋げることができたと思う。</p> <p>・学年ごとに設定されているカリキュラムはあるが、クラスの実態や個々の力に合わせて活動を計画していくようにし、様々な個性を持った子どもたちに合わせた取り組みができたと思う。</p> <p>・子どもの興味や様子に合わせて、細かな保育計画を立てることを意識した。日々を振り返ることで、1人1人に合わせた保育に繋げることができたと思う。</p> <p>・温かいシャワーが設置され、夏の時期、とてもよかった。初めてのプールを行うひよこさんもプールの前後に温かいシャワーがあるので、水を嫌がる子どもおらず活動がとてもスムーズに行えた。運動会後の汗を流す時も使いやすかった。</p> <p>・年度初めに計画は綿密に立てるが、実際にはハプニングがあったり、保護者からの提案があったり、その時その時で変化することがあるが、臨機応変に対応できたと思う。</p>	A	<p>・先生方が共通認識を深め、園全体の空気を整えて頂いたことで子ども達はどのお友達、どの先生と一緒に安心してかかわりあいながら学ぶことが出来たと思います。</p> <p>・この年のそのクラスだけその子だけの素敵な活動内容を計画してくださり子どもたちは日々期待を持って登園できたと思います。お忙しい日々の中一人ひとりと向き合っていくことは骨を折るご尽力があったことと思います。それほど丁寧な保育を心がけていただき嬉しく感じます。</p> <p>・保護者の気持ちを受け止めながら柔軟に対応して下さりありがとうございます。</p> <p>・小さい子供さんは体が冷えやすいと思うので夏の暑さでも温かいシャワーはとても良いと思います。細かいところまでご配慮していただき子供達もより過ごしやすくなったと思います。</p> <p>・幼稚園という教育施設において各学年におけるカリキュラムがあるなか子供たちの様子によって柔軟に対応できていると思います。子供たちの事を第一に思っていることがよく理解できます。</p>
			<p>・日頃から職員間で子どもたちの様子や情報を共有していることで、園全体の子どもたちの様子等の把握をすることができ、どの職員も丁寧に対応している姿に良さを感じる。また子どもたちの成長等を全ての先生方で喜び合える環境が素晴らしいと思います。</p>		<p>・全員で同じ取り組みをすることももちろん素晴らしい経験ですがその都度子どもの最善の利益を考え支えて下さったことでそれもまた子供たちにとって一番素晴らしい経験となったと思います。</p>

2	保育の在り方 幼児の対応	<p>・取り組む内容の難しさから不安を感じる子もいたが、個々の力やその時の姿に合わせて対応し、一人ひとりがその子なりの達成感を味わえるよう援助してきた。</p> <p>・職員室での会話から、子どもたちの情報共有ができ、他学年の子どもとも丁寧に関わることができたと感じる。</p> <p>A</p> <p>・年々、夏の暑さが厳しくなり、子どもたちが熱中症にならないように気を配っていても心配な日が続いた。塩分チャージを子どもたちに食べさせたり、水分補給の時間を多く設けたりし毎日を過ごした。教師同士で子どもたちが安全に過ごせるよう今後も工夫して過ごしていきたい。</p> <p>・療育支援センターで行った年少女児の発達検査に同席した。専門的な方に幼稚園での支援の方法・関り方を教えていただき、保育に活かすことができた。</p> <p>・様々な特性を持つ子どもたちに対して試行錯誤しながら全職員協力して対応が出来たと思う。特性があってもなくても一人一人が輝けるよう保育が出来たと思う。</p>	<p>・担任の先生のみならず多くの先生に子供の事を理解していただけていると感じ感謝しております。情報共有をし合えるような先生同士のコミュニケーションが頻繁に取れているからこそと思います。小規模幼稚園の強みがあり、とても良い対応を日々感じます。</p> <p>A</p> <p>・特性を持つ子への関わり方は様々なパターンがあると思うので試行錯誤な日々を送られていると思います。ただ、それを職員全体で情報を共有することで一人一人の子の成長を学年問わず喜び合える良い教育をしていると感じました。</p> <p>・外部の機関との繋がりを蔑ろにせず子どもの生活、活動、人間関係、育ちの為に寄り添っていただけたことができるとより楽しい幼稚園生活を送ることが出来たのではないかと思います。</p>
3	教師としての 資質・能力 良識・適正	<p>・子どもたち一人一人を見つめながら、個々の課題や対応について考え、かかわるよう心掛けていった。また子どもたちの成長を間近で見守り、その喜びを共有することのできる素晴らしい職業だからこそ、スキルアップする気持ちを忘れず楽しくかかわっていききたい。</p> <p>・子どもの成長の瞬間に立ち会えることに幸せを感じる。自身の対応はこれでよかったのかと悩むこともあるが、日々の振り返りを活かしながら、教師としての力をもっと付けていきたい。</p> <p>A</p> <p>・いつまでも学ぶ姿勢を大切に、先輩の先生から教えていただいたこと、見て学んだことを活かし、幼稚園教諭としての知識や技術を高めいきたい。</p> <p>・にしふじのみや幼稚園の卒園児が実習生として幼稚園実習に来てくれ、とても嬉しかった。そのほかにも卒園児が、顔を見せてくれたり、元気に頑張っている話を聞くこともでき、自分の頑張る原動力になった。</p> <p>・幼稚園のスローガン「一人ひとりが輝く子ども」という言葉通り、年長さんは様々な行事で輝く場面があったと思う。得意、不得意は誰にでもあるが、苦手な事でも最後までやり遂げられるような様々なサポートを全職員で行えたと思う。</p>	<p>・家族の他にこれほど長く深く大切にかかわって下さる方はほとんどいないはずですが、しかし家族にはない知識や技術、視点があり子供たちが成長するきっかけをたくさんくださいます。先生方の力で育つ子供たちの姿に親もまた成長が出来ます。</p> <p>A</p> <p>・幼稚園という教育機関において教師として一人ひとりの子ども達と向き合っていることがよくわかります。教師としての成長を忘れることなくベテランの先生や新しい先生がいることでお互いに学び合いとても良い環境の中で、日々学びそれを子供たちの成長につなげている姿勢がよくみられます。</p> <p>・先生方にもそれぞれの個性があり、得意なことを生かしていると思います。先生方が皆生き生きしているのが良いと思います。</p> <p>・実習生として母園に戻ってきたり節目で訪れてくれたりしている卒園児さんを見ると先生方と過ごした幼稚園生活がとても素敵な思い出となっていつまでも戻れる安心できる居場所になっているのだと思うと感動します。</p>
4	保護者への対応	<p>・子どもの様子や成長を担当の先生と話し合い、保護者の方に伝えていった。保護者の方が理解できるように工夫しつつ、保護者とのコミュニケーションを大切にしていって。</p> <p>・保護者の方から寄せられる意見を真摯に受け止めながら、一緒に子どもたちを育てていけたらと思う。</p> <p>A</p> <p>・子どもの様子の伝え方を先輩の先生に相談しながら、保護者の方と良いコミュニケーションがとれるように心掛けた。</p> <p>・昨年度終わりのころからメールに加え、ラインでの発信も行い、情報の漏れが少なくなったように感じる。</p> <p>・外国籍の方から先生の対応が分かりやすく丁寧だから入園をしたとの話を聞いた。どの先生もきちんと伝えるようイラストを使った資料を用意する等、状況に応じて丁寧な対応をしているのが良かったと思う。</p>	<p>・園での様子をなかなか見ることが出来ない保護者にとっては送迎等で先生方から聞く子どもの話は嬉しく良いコミュニケーションになっています。時には子供の失敗や気になる言動が見られることもあると思いますが状況や対応について丁寧にお話していただける事で不安が小さくなります。また、マイナスなことだけでなくその日頑張っていたことなども併せて伝えて下さる為安心して子どもを認めてあげることにつながります。</p> <p>A</p> <p>・幼稚園での活動において保護者の理解と協力は切っても切れない関係だと思えます。保護者の方にも丁寧な説明とコミュニケーションをとっていることが伝わります。また外国籍の方たちへの対応も丁寧で素晴らしいと思います。</p> <p>・子ども達の様子をインスタグラムで知ることができ元気をもらい、とても楽しみにしています。</p>

5	地域の自然や社会との関わり	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小連携の為の研修会や小学校の授業参観等に参観することができ良かった。幼稚園から小学校へ繋げていくために、今の子どもたちには何が必要か等を改めて確認することのできる良い場となった。 ・幼少連携を図って行われた合同研修の際、小学校の先生方がどのような育ちを求めているのかを知ることができ、勉強になった。 ・幼少連携で合同研修会で現場の小学校の先生方と意見交換をすることで、これからどのように子どもたちと関わっていくとよいのかを学ぶことができた。 ・今年は幼少連携で、貴船小学校との関わりの中で、1学期に1年生の授業を参観に行ったり小学校の先生方と話をしたりと今まで以上の関りができてよかった。今後も小学校との連携は密にしていきたい。 ・貴船小との関りが多くなった一年だった。幼小連携の為の研修で幼稚園教育というものを小学校の先生にも知ってもらえる機会がとれて良かったと思う。まだまだ課題は多いが続けていくことでお互いの理解を深めていけたら子どもたちの為になると思う。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園（保育園、こども園）から小学校での環境の変化は非常に大きい印象があります。幼稚園で行ってきたことを小学校側に知ってもらい、小学校側が求めている育ちを知るといった先生方のご尽力で卒園入学を迎える子供たちの戸惑いを和らげることになっていると思います。また、小学校からも「園小連携を図って小学校へのゆるやかな移行を促進できるよう実践している」と言ってお話を聞き連携の名の通り共通の目的を持ち理解を深め合っているのだと感じました。 ・大きな幼稚園から大人数の子が必ずしも全員が入学するわけでもないの、入学する学校へ行けることはとても心強いと思います。 ・子ども達が小学生になることへの不安は聞いたことがなく、皆楽しみにしていると話してくれます。良いことだと思います。
6	研修と研究	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の指導方法を見直しつつ、更なるスキルアップに繋げていけるように、引き続き様々な研修会などに参加し、自分の保育を高めていきたい。 ・今年度もインクルーシブ教育について園内研修を行い、子ども一人ひとりの成長や課題に園全体で向き合うことができた。 ・ECEQ(公開保育)研修に参加させてもらうことで、日々の保育を見つめ直すきっかけにもなり、とても勉強になった。 ・昨年度から避難訓練を多めに行っている。実際にいろんな場面での訓練を行うと、見えてくる課題がいろいろあった。子どもたちにとっても必要だが、教師にとっても訓練はとても大切であることを実感している。今後も地震・火災の訓練だけでなく、防犯面などに関しても行っていきたい。 ・東京での音楽研修など、普段できない経験をさせていただいた。この経験を普段の保育にも生かしていけるようにしたい。自らもいろんなことに視野を広げて過ごしていきたい。 ・幼小連携の研修の為貴船小とのやり取りが増え、小学校入学に向けて園で出来ること、やっておいた方がよいことなどを話し合うことが出来た。小学校の接続がより良いものになるよう今後も研修を進めていきたいと思う。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人としても園としても研鑽の姿勢を持ち続けていच्छり尊敬します。 ・様々な研修に積極的に参加されていることは素晴らしいです。多様性や国籍に対応する為にインクルーシブ教育の研修を受けたりECEQ研修会で保育を見直したり、にしふじのみや幼稚園を良くしていきたいと思う姿勢が素晴らしいと思います。 ・子どもから訓練の様子や学んだ注意事項を聞きます。様々な想定で繰り返し実施していただいていたことで、その場にいる全員が素早い行動や判断を身に着けていったのだと思います。 ・幼少連携に力を入れた一年だったということがうかがえます。幼稚園を卒園してもそこから始まる義務教育に向けて幼稚園でできることを再確認し子ども達の成長に繋げていこうという思いが伝わりました。

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

・教育施設として今やれることをいろいろ企画し行事などを通して「一人一人が輝く子ども」を目標に個性を大切に保育を通し、自分からやろうとする子は達成できたと思う。

・今回の研修を通して、これまで難しく感じていた「インクルーシブ教育」が身近なものになったと同時に、これまで保育する中で自然とインクルーシブ教育がなされていたということに気づくことができた。職員それぞれが保育の引き出しを増やし、これからも引き続き研究を進め、今年度の研修で得たアイデアを日々の保育で活かしながら、「様々な特性を持った子どもたちが共に育ち合うために必要とされる保育・支援」の実現に向かって進んでいきたいと思う。

・幼稚園は「初めての学校・教育をする場」であることを基本に新しい発想を取り入れ更に資質の向上に努め。保護者や近隣の方々とのコミュニケーション、そして市内でも進めている就学前の架け橋期を大切に幼小連携を通して子どもの育ちと学びの為、関係づくりを深めていきたい。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
地域との関わり	幼小連携・回覧板による情報公開・情報の収集・地域内の施設訪問をし交流を深める 地域行事への参加
自己啓発	指導計画の見直しと、報告・連絡・相談を密に保育の営みを連携しながら更に向上させたい
基本的な生活習慣	家庭、地域、幼小等、連携を密にして実践する

6 学校関係者評価委員会からのコメント

・教育施設として子ども達の成長を掲げ、その為にできることを日々研鑽を重ねていることがよくわかります。子ども達の特性や個性と向き合い日々保育教育している姿が伺えます。

・深き理念の基、子ども達と接している事頭が下がります。私たちがどう生きるか、どんな思いを抱えているか大人達の生き様を子ども達は敏感に感じています。そのことが静かな信頼を得、この成長への糧になると思います。私たちもまだまだ学びの途中である事実感しております。

・教師同士が協力し合い子ども達を一人も取りこぼすことなく「一人一人が輝く子ども」を目標に子ども達と向き合っている様子がうかがえます。

・子どもにとっても保護者にとっても理事長先生をはじめ園長先生、諸先生方などたでも温かくてお話しやすく大きな安心があります。その上職員の皆様が全園児を理解し見守って下さっている事が伝わり3年通して安心して通園する（させる）ことが出来ているのだと思います。

・子ども達のその時の関心に目を向けて活動に盛り込んでくださったり、発想を大切にしていしばらく見守って下さったりと子ども達の主体性を尊重しながら、ねらいの達成の為に日々保育していただいたのだと思います。その為子ども達は自ら興味を持ち夢中になってやり抜くことが出来たのだと思います。

・幼稚園は子ども達にとってきっと初めての集団生活、教育を受ける場だと思います。子ども達の為に保護者の方や地域の方への関係づくりを怠ることなく幼稚園の活動がスムーズに行われる様日々努力されていると思います。

・職員の皆様の目と手と心で、個性や特性を持った子供たちを温かく包んでくださっていると思います。その為にお力添え頂いたことは、個に寄り添った計画や対応、保護者との相互関係、職員間での共有など多岐にわたると思いますが、その結果全園児が充実して日々を送ることが出来、共に育ち合うことに繋がっていたのだと思います。

・幼稚園における様々な経験、職員の皆様の熱心なご指導により、子供たちは自立の為に生きる基礎を培い、心豊かに成長を続けています。心より感謝申し上げます。

・苦手なことやできないことを見つけるほうが早い息子ですが、先生方は頑張ったことや良いところをたくさん見つけてお話していただきました。お迎えの際には園での様子を教えて下さり大勢での活動の中でも一人ひとりを丁寧に見て頂けていることが伝わりました。また、心配な姿が見られると対応していただいた時の様子を説明して下さり息子の今とこれからの為にできることを一緒に考えて同じ思いで援助していただけたので、しばらくすると気になる様子も改善されたような気がします。「楽しかった」と満足して帰ってきて「早く幼稚園に行きたい」と期待に胸を膨らませて登園する毎日を送ることが出来たのは先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

・多様性を認める社会、どんな子も普通に受け入れる園、それを当たり前ほかに子が受け入れている、素晴らしいことだと思います。どの子も個性や特性が強いのが当たり前、そんな中先生方の心の広さ…それは子供に伝わっています。

・全人教育の理念を基、しっかりと指導して下さり感謝です。一人ひとりが愛され自己肯定感を持つ事が出来ることは社会への第一歩を踏み出す大きな力になると思います。これからもよろしくお願ひします。

|